

日本学術会議 化学委員会

物理化学・生物物理化学分科会（第 25 期・第 3 回）議事録

日時：2021 年 12 月 24 日（金）、10 時 05 分～11 時 05 分

会場：日本学術会議 6C-1 会議室、遠隔会議（ハイブリッド）

出席者 21 名： 相田 美砂子、阿波賀 邦夫、石谷 治、岩澤 康裕、岡本 裕巳、腰原 伸也、川合 眞紀、神取 秀樹、栗原 和枝、黒田 玲子、小林 昭子、所 裕子、内藤俊雄、中嶋 敦、西川 恵子、細越 裕子、三澤 弘明、村越 敬、森 初果、山内 美穂、山本 達之
欠席者 2 名：福村 裕史、山内 薫

【議事】

1. 会員メールアドレス共有および議事録案策定手順の承認

岡本委員長より、委員のメールアドレスを委員間で共有することと、議事録案を持ち回り確認後、微修正があった場合に最終的な調整を委員長に一任することの2点が、本分科会の以前の議事録に未記入であることの説明があった。出席者全員の同意により、本件は再確認・承認され、議事録に明記することとした。

2. 第 2 回委員会の議事録の承認

岡本委員長より第 2 回委員会の議事録（日本学術会議に提出済）の内容の確認があった。

2. これまでの活動状況報告

岡本委員長からアト秒レーザー科学研究施設設置計画（ALFA 計画）に関する分子研研究会の開催について告知された。この研究会については本分科会との共同開催を申請することとした。また、相田委員により地方にある大学の活性化に関する取り組みが学術会議内で精力的に進められていることも報告された。

3. 今後の活動方針

（1）アト秒レーザー科学研究施設（ALFA）についての進捗

岡本委員長からアト秒レーザー科学研究施設設置計画（ALFA 計画）とその利用研究に関する分子研研究会を 3 月 8 日にハイブリッド形式で開催する予定であることが紹介された。

（2）「地方にある大学の活性化」についての進捗

相田委員から、他の分科会においても「地方にある大学の活性化」が議論されており、今後は、本分科会内だけでなく、材料化学分科会など、他の分科会等と連携し幅広く議論を展開していくとの説明があった。また、石谷委員から、進学者が少ない大学における事情について具体的な意味を問う質問が出された。相田委員から、規模の小さい大学の現状と、文科省の支援制度との間に整合しない部分がある状況についての説明があった。現実には即した有効な支援を行うためには、全国の大学

から広く意見を集めて議論を深めることが重要であるとの認識を共有した。

(3) 「カーボンニュートラル」への対応方針

山内委員(九州大学)から、9月16日に開催されたカーボンニュートラル連絡会議および連絡会議のアンケートに関する内容が報告された。“カーボンニュートラル, CN”の語の使われ方や意味のとられ方に多くの曖昧さや不正確さが存在するので、よく検討することが必要であるとの意見が数多く出された。山内委員(九州大学)から、機会があればその点について意見を述べるとの返答があった。日本化学会の中で進んでいるカーボンニュートラルに関する協議と連携することや、人工光合成に関する内容を取り上げることなどの提案が出された。

(4) 総会, 第三部会の概要

岡本委員長から、総会と第三部会における議論の状況の概要が説明された。